

2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 91014 単位数 : 2

科目名	社会科教育法A	科目責任者	宮崎 猛
課題と試験担当教員	宮崎 猛		
履修方法	S スクーリング学習		
ナンバリング	CTETC260		

■ 科目概要

社会科教育の実践にあたって、必要な授業理論・授業実践への検討を行い、社会科の授業を構成し、実践していく力量を育成する。特に本講義では、参加型学習について取り上げ、出席者とともに、生徒が意欲的に学ぶ授業や地域と連携して取り組む学習指導の在り方について、具体的・実践的に考察していく。また、社会科の歴史や変遷に考察を加え、社会科の本質は何であるのかについて論究するとともに、「総合的な学習」における社会科の役割などにも言及する。模擬授業や検証授業も取り入れていく予定である。

■ 到達目標

- 1社会科の教科目標や内容構成について理解することができる。
- 2社会科授業における指導案の構成を理解し、指導案を正しく作成することができる。
- 3社会科・公民科の創設の経緯、歴史的意義、変遷等、社会科のかかわる基礎的・基本的な事項を理解する。
- 4中学校、高等学校の現場の実態を理解し、生徒を意欲的に学習に向かわせるための授業実践力を身につけることができる。

■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
第1部第1章社会科教育の歴史 第1節アメリカにおける社会科の成立と展開	・コースオリエンテーション ・日本における社会科の誕生 社会科誕生の契機について検討を行うとともに、米国社会科との関連について考察する。
第1部第1章社会科教育の歴史 第2節日本における社会科の成立 第3節日本における社会科の展開	・社会科・公民科の展開の歴史1 戦後初期社会科の実践事例等についての検討を行い、それを通して社会科の本質とは何かについて議論する。 ・社会科・公民科の展開の歴史2 戦後社会科が学習指導要領の展開とともにどのように内容、性格、方法が変化していったのかについて考察する。
第1部第2章学習指導要領の目標と内容 第2節中学校社会科学習指導要領の特徴	・現在の社会科の目標と内容構成 現在の社会科がどのような目標と内容をもっているのか、そこにおける課題は何であるのかについて確認を行う。 ・社会の授業の方法と工夫 社会科の授業をどのように構成、展開するのかについて考察する。

学習範囲 該当する章など	学習内容
第1部第2章学習指導要領の目標と内容 第2節中学校社会科学学習指導要領の特徴	・中学校・高等学校の現状ならびに社会科授業の工夫 中学校・高等学校の現状の一端とそこにおける社会科教育における授業の工夫についての知見をもち、それらについての検討を行う。
第1部第2章学習指導要領の目標と内容 第2節中学校社会科学学習指導要領の特徴	・社会科授業づくりの実際 授業づくりを実際にどのように行うのかについて検討する ・スクーリングにおける課題の提示 スクーリングにおける各自の課題を提示する。
第2部第1章授業づくりの方法・技術と理論 第1節授業づくりのプロセスと社会科の目標	・メディア学習理解のための確認 ・授業の工夫1 参加者間でよい授業とはどのようなものか、意欲を引き出す授業とはどのようなものかについての検討を行う。
第2部第1章授業づくりの方法・技術と理論 第2節社会科の学習過程 第3節学習形態と指導技術	・授業の工夫2 参加者間でよい授業とはどのようなものか、意欲を引き出す授業とはどのようなものかについて実践を通して解明する。
第2部第2章各分野の学習指導の展開 第1節社会科学学習指導の基盤 第2節地理的内容の学習指導	・学習指導案の作成と検討1 学習指導案の基本的構成について再確認するとともに、実際に作成した指導案を参加者間で検討、検証する。
第2部第2章各分野の学習指導の展開 第3節歴史的内容の学習指導 第4節公民的内容の学習指導	・学習指導案の作成と検討2 学習指導案の基本的構成について再確認するとともに、実際に作成した指導案を参加者間で検討、検証する。
第2部第3章指導計画と学習指導案 第1節年間指導計画と単元指導計画	・学習指導案の作成と実践準備 作成した学習指導案について、実際に授業に資するための教材研究のあり方についての検討を行う。
第2部第3章指導計画と学習指導案 第1節年間指導計画と単元指導計画	・教材研究と授業準備 教材研究を行いながら、実際の授業を想定し、学習指導案の再構成を行う。

学習範囲 該当する章など	学習内容
第2部第3章指導計画と学習指導案 第2節学習指導案の作成	・模擬授業とその検討 1 作成した学習指導案を、模擬授業的な形式を用いて、実践し参加者間で検討する。
第2部第4章評価の方法と理論	・模擬授業とその検討 2 作成した学習指導案を、模擬授業的な形式を用いて、実践し参加者間で検討する。
第3部第4節中学校地理的分野 第5節中学校歴史的分野 第6節公民的分野	・模擬授業とその検討 3 作成した学習指導案を、模擬授業的な形式を用いて、実践し参加者間で検討する。

■ ディスカッション・ペアワーク

ディスカッション・ペアワークは行いません。

■ DVDに関する内容理解の確認方法

面接授業1回目にレポートの提出があります。

■ 学習方法・評価

種別	評価基準
試験	まず、教科書で試験範囲を正しく把握します。それを踏まえて、試験範囲の内容をよく理解しながら、熟読して下さい。しかも試験範囲のどこから出題されても解答できるように、試験範囲をしっかり読みましょう。決して山をかけないように。試験勉強を通して、教師になるために必要な知識と技能を確実に身に付けるのだという気持ちで臨むとよいです。 教科書の内容について、その理解と習得を問います。

■ 評価方法

○スクーリング試験：100%

■ 教科書

書名：社会科教育の創造—基礎・理論・実践—

著者名：宮崎猛

出版社名：教育出版

出版年：2009.4

版：

刷：

ISBN：978-4-316-80261-9

■ 参考書

教科書の脚注にある参考文献や引用文献を適宜参照して下さい。

■ 履修上のアドバイス

教科書を丁寧に読み、わからない語句や用語がないように辞書などでよく調べ、その上で内容全体も正確に把握して下さい。大切なことは、通読のレベルにとどまらず精読することです。

■ 自習時間

個人差がありますが、レポート1 課題あたりの作成に20 時間程度、科目試験の勉強に40 時間程度が考えられます。

■ 担当者のプロフィール

創価大学法学部卒、早稲田大学博士課程単位取得退学、教育学修士、国際政治学修士、高校教員（公民科「政治・経済」担当）、早稲田大学非常勤講師、創価大学教育学部准教授、インディアナ大学客員研究員等を経て現職